

筑西市議会経済土木委員会

会 議 録

(令和5年第2回定例会)

筑西市議会

経済土木委員会 会議録

1 日時

令和5年6月21日（水） 開会：午前10時 閉会：午前10時45分

2 場所

全員協議会室

3 審査案件

議案第46号 市道路線の廃止について

議案第47号 市道路線の認定について

議案第56号 令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）のうち所管の補正予算

4 出席委員

委員長 三澤 隆一君 副委員長 森 正雄君

委員 塚田 砂与君 委員 吉富 泰宣君 委員 田中 隆徳君

委員 増淵 慎治君 委員 堀江 健一君

5 欠席委員

委員 秋山 恵一君

6 議会事務局職員出席者

書記 宮川 尚訓君

委員長 三澤 隆一

○委員長（三澤隆一君） ただいまから経済土木委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は7名であります。よって、委員会は成立いたしております。

欠席通知のあった者は、秋山委員の1名でございます。

それでは、本委員会に付託されました議案について審査してまいります。

なお、議案審査の順序ですが、お手元に配付いたしましたとおり、市道路線議案2案及び補正予算議案1案について、所管部ごとに審査を願いたいと存じますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） ありがとうございます。

また、筑西市議会基本条例第19条の申合せ事項により、議員間討議を当分の間、試行的に委員会の会議にて行うこととされておりますので、討議を希望される場合は挙手を願います。

それでは、各議案について所管部ごとに審査をしてまいります。初めに、経済部です。議案第56号「令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）」のうち、経済部所管の補正予算について審査を願います。

なお、議案第56号については複数の部にまたがるため、全ての部の審査の終了後、討論、採決をしたいと存じます。

それでは、商工振興課から説明を願います。

それでは、大木商工振興課長、説明のほうをお願いいたします。

○商工振興課長（大木幹子君） 商工振興課、大木です。よろしくお願いいたします。失礼します。

○委員長（三澤隆一君） お願いします。

○商工振興課長（大木幹子君） 議案第56号「令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）」のうち、商工振興課所管の補正予算につきましてご説明申し上げます。

初めに、8ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、2、歳入でございます。款21諸収入、項6目6雑入、節10雑入（商工・労働）、説明欄9、プレミアム付商品券販売収入4,200万円の増額をお願いするものでございます。詳細につきましては、歳出にて説明させていただきます。

続きまして、9ページを御覧ください。3、歳出でございます。款2総務費、項1総務管理費、目19新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費、説明欄、新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業2億7,111万2,000円のうち、プレミアム付商品券発行事業の経費として2億3,154万2,000円の増額補正をお願いするものでございます。詳細につきましては、別紙の令和5年度補正予算概要説明書により説明させていただきます。

4ページをお開き願います。プレミアム付商品券発行事業でございます。この事業は、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民の皆様に対して家計支援を行い、地域における消費の喚起、下支え及び消費拡大につなげるとともに、売上げの減少している地元商店や飲食店を支援し、地域経済の活性化を図るものでございます。この商品券は、5,000円分の商品券を1,000円で販売するもので、4,000円分のプレミアムが付与されるものでございます。世帯1セット購入できるものでございまして、発行数は4万2,000セットを予定しております。

商工振興課所管の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 質疑を終結いたします。ありがとうございました。

次に、水田農業振興課から説明を願います。

岩渕水田農業振興課長、よろしく願います。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） 水田農業振興課、岩渕でございます。よろしく願います。着座にてご説明させていただきます。

○委員長（三澤隆一君） それでは、願います。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） 議案第56号のうち、水田農業振興課所管の補正予算についてご説明申し上げます。

初めに、7ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、2、歳入でございます。款16県支出金、項2県補助金、目6農林水産業費県補助金、節1農業費補助金、説明欄19、イネ縞葉枯病防除緊急対策事業費補助金について504万円の増額をお願いするものでございます。内容につきましては、歳出にてご説明申し上げます。

次に、11ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、3、歳出でございます。款6農林水産業費、項1農業費、目4水田農業振興対策費、節18負担金補助及び交付金、説明欄、農林航空防除支援事業費補助金について1,512万円の増額をお願いするものでございます。これは茨城県イネ縞葉枯病防除緊急対策事業の拡充に伴いまして、ウイルスを媒介するヒメトビウンカを対象に航空防除を実施し、かつ育苗箱での薬剤処理にも取り組んだ農業者に対し、10アール当たり市補助金300円、県補助金150円、合わせまして450円を新たに補助するものでございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしく願います。

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を願います。

森委員。

○委員（森 正雄君） 航空防除は必要であるというふうな認識では私もいるのですが、毎月、病害虫に関する状況について、県では予報を出していますよね。その予報で、今年のヒメトビウンカの発生量というのはどのような予想をしているのか、その点1点お伺いします。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長、願います。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） お答え申し上げます。

茨城県の病害虫防除所、毎月ではないのですが、適時注意報を出しております。最新のものと、5月24日付におきまして県西・県南地区におきまして、小麦の圃場で捕殺、網を10回振りまして、その中でヒメトビウンカの数を調べております。今回は、過去8年間の中で一番多いということで、ヒメトビウンカの発生が多いことが予想されます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 森委員。

○委員（森 正雄君） 分かりました。多いのだ。では、心配だね。

今、そうですね。イネ縞葉枯病の航空防除といいましようか、本田での薬剤を散布するというのは、大体出穂前だから今の時期だと思うのですが、いつ、あれっ、これ言っていたかな、回答あったかな。

いつ頃の予定で、もう始まっているのですか、やったのですか。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） お答え申し上げます。

そうですね。先日、昨日ですね。

（「そうか、そうか。分かりました」と呼ぶ者あり）

○水田農業振興課長（岩渕里之君） （続）明野地区だけ今日実施しております。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 森委員。

○委員（森 正雄君） 分かりました。すみませんでした。

この筑西市の水田の面積全体のヒメトビウンカに対する防除の面積割合、どのくらいなのかちょっと教えてください。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長、お願いします。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） お答え申し上げます。

令和4年度の実績でございますが、水稻作付面積は6,258ヘクタールございます。その中でイネ縞葉枯病の航空防除を実施しておりますのが4764.1ヘクタール、実施率で76.1%実施しております。

○委員（森 正雄君） 3回でしたっけ。

○委員長（三澤隆一君） あります。どうぞ。

○委員（森 正雄君） 76.1%ということで、この漏れているのはどういった理由ですか。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長、お願いします。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） 実施のほうは、農業共済組合のほうで実施していただいているのですけれども、その中で実施要件がございまして、あくまでも農業者からの任意の要望なのですけれども、5ヘクタールの連担というのが要件にございまして、この5ヘクタールの連担の要件が見いだされませんと、実施が不可能な状態でございます。あとは、個人でやっていらっしゃる方もいらっしゃいますので、これだけしかやっていないということではないと思われまして。

○委員（森 正雄君） 分かりました。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

堀江委員。

○委員（堀江健一君） 調査、今、ヒメトビウンカの発生率、皆さんによく分かるように、何倍だか数字出ているでしょう。みんなに教えてやって。

○委員長（三澤隆一君） 岩渕水田農業振興課長、お願いします。

○水田農業振興課長（岩渕里之君） お答えいたします。

病害虫防除所で5月の中旬に調査しまして、県西と県南ということで、筑西という指定はないのですけれども、その中、麦の圃場の中で網を10回振りまして、その中で本年、過去7年の平均は56.2匹なのですけれども、本年は154.4匹いるということで。

（「多いですね」「3倍」と呼ぶ者あり）

○水田農業振興課長（岩渕里之君） （続）はい。過去8年で一番多い発生ということでございます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 堀江委員。

○委員（堀江健一君） 分かりました。いや、皆さん分からなくてはしょうがない、どのくらい多いのか。私は分かっている、ちゃんと。

○委員長（三澤隆一君） そうですね。さすが。よろしいですか。

○委員（堀江健一君） はい、いいです。

○委員長（三澤隆一君） ほかに何か。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を終結いたします。

以上で経済部の審査を終了いたします。

執行部の入替えをお願いします。お疲れさまでした。

〔経済部退室。土木部入室〕

○委員長（三澤隆一君） それでは、次に土木部の審査に入ります。議案第46号「市道路線の廃止について」審査を願います。

なお、執行部から提出のあった資料を既にお配りしております。

それでは、道路維持課から説明を願います。

○道路維持課長（青木 徹君） 道路維持課の青木です。よろしくお願いたします。議案第46号「市道路線の廃止について」ご説明申し上げます。申し訳ございませんが、着座にてご説明いたします。失礼します。

○委員長（三澤隆一君） それでは、よろしくお願いたします。

○道路維持課長（青木 徹君） 2ページをお開き願います。調書番号1番の関城地区1路線及び調書番号2番の明野地区1路線の廃止で、廃止の延長は2路線合わせて2,645.11メートルでございます。

調書番号1番から2番の路線につきまして、私有地の一部に市道認定が残っているため、廃止するものがございます。各路線の起点、終点及び延長につきましては、記載のとおりでございます。

参考資料といたしまして、市道廃止路線位置図及び市道廃止路線全体図を次のページから添付させていただいております。また、今回、経済土木委員会用に別添資料としてさらに詳細な資料をおつけさせていただきましたので、ご確認いただきますようよろしくお願申し上げます。

廃止については以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 質疑を終結いたします。

それでは、議案第46号について討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 討論を終結いたします。

これより議案第46号の採決をいたします。

議案第46号「市道路線の廃止について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長（三澤隆一君） 挙手全員。よって、本案は可決されました。

次に、議案第47号「市道路線の認定について」審査を願います。

それでは、引き続き道路維持課から説明願います。

○道路維持課長（青木 徹君） 続きまして、議案第47号「市道路線の認定について」ご説明申し上げます。

2ページをお開き願います。調書番号1番の関城地区1路線及び調書番号2番の明野地区1路線の認定で、認定の延長は2路線合わせて2,484.65メートルでございます。調書番号1番から2番の路線につきまして、廃止路線の一部を市道として再認定するものでございます。各路線の起点、終点及び延長につきましては、記載のとおりでございます。こちらにつきましても本日、別添資料をおつけさせていただきましたので、ご確認願います。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） すみません。1点確認でございますが、廃止して認定なのですけれども、認定して廃止に対してどういう効果が期待できるというふうに考えておけばよろしいのですか。

○委員長（三澤隆一君） 青木道路維持課長、お願いします。

○道路維持課長（青木 徹君） お答えいたします。

まず、認定を全体延長で1回廃止して、今度、今回廃止する部分というのは、施設を建てるため、その部分、自分の土地と土地の間に市道が入っているということが今回分かったものですから、その部分を廃止して、それから土地を、その部分を企業者の方にお譲りして、その部分を一体的に使うというようなことでございます。

以上です。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） 分かりました。以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 質疑を終結いたします。

続いて、討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君） 討論を終結いたします。

これより議案第47号の採決をいたします。

議案第47号「市道路線の認定について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長（三澤隆一君） 挙手全員。よって、本案は可決されました。ありがとうございました。

次に、議案第56号「令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）」のうち、土木部所管の補正予算について審査を願います。

なお、追加で要求のありました資料をお手元に配付しております。資料については、説明及び質疑後、回収をいたしますので、よろしくお願いたします。

それでは、道の駅拡張整備推進課から説明を願います。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君） 道の駅拡張整備推進課の大久保です。議案第56号「令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）」のうち、道の駅拡張整備推進課所管の補正予算についてご説明申し上げます。着座にて失礼いたします。

○委員長（三澤隆一君） それでは、よろしく願います。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君） 初めに、4ページをお開き願います。

第2表、地方債補正、1、追加でございます。起債の目的、道の駅整備事業につきまして、限度額790万円の追加をお願いするものでございます。これは道の駅グランテラス筑西における駐車場不足の解消及び優遇施設の充実を図るため、整備事業に係る起債について追加するものでございます。合併特例債を活用し、この後ご説明いたします歳入に計上させていただくものでございます。

続きまして、8ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、2、歳入でございます。下の表になります。款22市債、項1市債、目8土木債、節1土木管理債、説明欄1、道の駅整備事業債に790万円の増額補正をお願いするものでございます。この後、歳出にてご説明いたします。道の駅拡張整備事業費において、用地取得のために直接必要となります補償物件調査、不動産鑑定及び土地評価の委託料に財源を充当するものでございます。

次に、11ページをお開き願います。3、歳出、一番下の表でございます。款8土木費、項1土木管理費、目3道の駅拡張整備事業費、節12委託料、節14工事請負費、説明欄、道の駅拡張整備事業に3,135万円の増額補正をお願いするものでございます。12委託料2,657万1,000円の内訳としまして、補償物件調査委託料168万3,000円、不動産鑑定及び土地評価委託料672万8,000円、除草清掃作業委託料100万円、道の駅拡張整備基本計画策定業務委託料1,716万円でございます。14工事請負費につきましては、造成用土砂仮置場整備工事費として477万9,000円でございます。内容につきましては、本年3月より整備予定地約3.4ヘクタールにおいて、土地権利者様の立会いの下、土地境界確認及び土地の高低差を計測いたします用地測量を本年6月30日までの工期で行っております。その結果を受けまして、用地取得の算定に必要な補償物件調査、不動産鑑定及び土地評価の委託、造成工事に必要な土砂を事前にストックしておくための仮置場の整備工事、その仮置場の除草清掃作業の委託、また具体的な機能や施設規模等の整備内容及び全体工程の把握、概算事業費を算定するため、基本計画の策定業務を委託するものでございます。

続きまして、お配りをさせていただいております資料でございます。6月16日の経済土木委員会協議会においてご説明をさせていただきましたが、改めてご説明いたします。資料1を御覧ください。右上になります事業の目的につきましては、道の駅グランテラス筑西における駐車場不足の解消及び遊具施設の充実といった利用者からの要望に対応するため、駐車場の拡張及び遊具施設の拡充について、既存道の駅との一体性を持って整備することで、道の駅利用者の利便性向上と安全生の確保及び新たなにぎわいの創出を図ります。朱書きで記載しておりますが、国土交通省から国道50号拡幅用地の駐車場目的での使用は不適切と再三指摘を受けており、速やかな駐車場の拡張整備が求められております。

資料、右側の中段、航空写真に記載しております125台、126台の計251台分の駐車スペースを大型連休やイベント開催時において、国土交通省から借用を受けている箇所になります。道の駅グランテラス筑西の駐車場台数及び遊具施設の設置状況、また黄色で囲んでございますのが間もなく完了いたします測量の範囲3万4,710平方メートルでございます。

資料の左側になります。①の基本構想におきましては、道の駅グランテラス筑西の現状把握及び拡張整備地の考え方など骨格となるものをつくります。現在、道の駅拡張整備推進課において算定の途中の6月20日時点の案ではございますが、委員の皆様にご高覧賜りたくお配りをさせていただきました。

お配りをさせていただきました基本構想でございますが、詳細につきましては割愛をさせていただきますが、1点目といたしましては、基本構想策定の背景、2点目といたしまして上位関連計画、3点目といたしまして市及び道の駅グランテラス筑西の現状、4点目、道の駅グランテラス筑西の課題、5点目といたしまして道の駅グランテラス筑西拡張整備基本構想の5項目で構成しております。こちらにつきましては、7月下旬までには議員の皆様にお配りをさせていただきたいと考えております。また、直接職員が策定することにより、最低でも200万円程度は委託費を削減できるものと思われま

す。続きまして、②の基本計画でございます。補正予算事項別明細書、歳出でご説明いたしました1,716万円の策定業務委託料でございます。この計画は、基本構想でまとめました骨格を基に、道の駅整備に関する課題や条件を整理し、各設備の配置や場所、機能及び概算工事費など具体的な案を示します。1,716万円でございますが、既存道の駅の建築基本設計、実施設計等業務委託、公募型プロポーザル参加企業3社から取得いたしました参考見積りのうち、最高額を補正予算に計上させていただきました。

これだけ高額になってしまう積算根拠でございますが、資料の右下を御覧ください。この見積書は、茨城県土木部が発行いたします土木設計業務等積算基準に基づき算出されております。赤枠で囲んであります①の直接人件費643万9,900円に対しまして、最終的な業務委託料は⑨でございます1,716万円と直接人件費の約2.66倍になります。その要因は、①の直接人件費に掛かります④の間接原価346万7,638円と、⑤の業務原価に掛かります⑥でございます一般管理費等546万2,957円のいわゆる諸経費でございますが、合わせまして893万595円が加算されることにより、高額となっております。それぞれの掛け率は、計算式から約53.846%と定められております。

また、既存の道の駅的设计等を行いました平成27年度当時と比べますと、設計技師の人件費は約1.28倍と高騰していることも高額になっている要因かと考えられます。補正予算に計上させていただきました委託料1,716万円につきましては、契約金額ではございません。今後、公募型プロポーザルにより、優先交渉権者を選定してまいります。提案いただきます業務費用につきましても評価対象となります。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

続きまして、資料左側の中段になります。業務を委託する主な理由でございます。国土交通省からの再三の指摘もござい

ますこと、拡張整備の早期完成に向け、短期間で基本計画を策定する必要がございます。また、公募型プロポーザルにより、専門的な知識、手法が必要な技術提案を募るため、業務を委託する必要がございます。こういった技術提案かと申しますと、右側の航空写真を御覧いただきたいと思います。整備範囲は未確定でございますが、道の駅グランテラス筑西と整備予定地の間には、市道と河間土地改良区が管理いたします大排水路がございます。また、道の駅グランテラス筑西と整備予定地の地盤高の高さの差が約1メートルから、場所によっては約2.5メートルの差がございます。整備地は、盛土による造成工事を行いますが、この間にあります大排水路や市道は機能を維持するため、盛土ができません。大排水路の機能を維持した形での既存の道の駅との一体性を持った動線計画の提案や、新たに整備いたします敷地駐車場への車両等の出入口の提案などを公募したいと考えております。

続きまして、資料2を御覧ください。基本計画におきまして、1につきましては事業者による専門的知識、ノウハウを必要とする業務でございまして、職員では作成ができない業務でございます。先ほど説明いたしました(1)など10項目ほどございますが、中には地元自治会や河間土地改良区との合意形成を図るための技術的な項目もございます。各事項につきましては、資料を御覧いただきたいと思っております。この計画につきましては、権利者様や地元自治会へのご理解とご協力をいただくための資料にもなります。設計業務にもつながる重要な資料でございます。

続きまして、最後になります。資料3を御覧ください。道の駅拡張整備に伴います当課において作成いたしました想定のマスタースケジュール案でございます。ナンバー1、2につきましては、先ほどご説明させていただきました用地測量業務委託基本構想の策定でございます。3の基本計画策定業務委託、6の土地評価、不動産鑑定、用地補償調査業務委託、16の造成用土砂仮置場整備工事、それに関連します除草清掃作業委託につきましては、議案第56号、一般会計補正予算をお願いするものでございます。早急に事業を進めるためには、3の基本計画の策定、5の基本設計・実施設計業務のスケジュールが重要になってまいります。

また、5の基本設計時において作成いたします図面を添付しませんと、令和6年度を予定しております9でございますが、県用地課の事業認定の申請ができません。この事業認定を取得しませんと、12の水戸税務署との租税特別措置法の協議ができません。この税協議は、地権者様の土地を提供いただく際に、5,000万円までの譲渡所得の優遇を受ける重要なものになります。税務署からの承認をいただいた後に、13になりますが、権利者様へ正式な用地取得に関します交渉を行い、用地の取得を行ってまいります。ここにごございます業務は関連性がございまして、この事業で最も重要なのは、土地を提供いただきます権利者様のご理解とご協力でございますので、しっかりと説明してまいりたいと考えております。

一番下になります17でございます。令和7年度の工事着工を目指しておりますが、専門的知識を有します事業者が基本計画を作成することにより、工事の完成時期も含め、概算ではございますが、工事費及び全体のスケジュールが見えてくるものと考えております。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○委員長(三澤隆一君) それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員(吉富泰宣君) このご説明いただいた資料1のほうの下欄でございます。

○委員長(三澤隆一君) マイクを近くにしてください。

○委員(吉富泰宣君) 土木設計業務算出基準のところ、今課長のほうから、今までよりも1.2倍くらい人件費が上がっているというお話がございましたが、それというのは幾らから幾ら、できれば日割りで1日当たり幾らが幾らになりましたというようなイメージで教えていただくと非常に分かりやすいのですが、いかがでしょうか。

○委員長(三澤隆一君) 大久保道の駅拡張整備推進課長、お願いします。

○道の駅拡張整備推進課長(大久保勝浩君) お答え申し上げます。

平成27年と令和5年の単価比較でございますが、こちらにつきましては当時主任技師という技師がございまして、こちらにつきましては1日の単価が4万9,500円ございました。令和5年度の単価表におきましては6万2,200円と当時に比べますと1万2,700円、こちらにつきましては1.26倍高騰しているという

ころでございます。こちらの設計につきましては、主任技師や、また技術員と5段階の技師がおりますが、その中で平均した金額が、失礼いたしました。倍数で1.28倍と高騰していると。中には、一番高騰しておりますのは技術員でございますが、こちらは2万3,800円です。1日2万3,800円でございますが、平成27年当時でございますが、令和5年ですと3万1,600円、こちらにつきましては1.33倍と高騰しているというようなところもございまして、平均いたしますと1.28倍高騰しているというところでございます。よろしくお願いたします。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） ありがとうございます。この表です。算出基準のところ、今おっしゃっていた金額というのが、1番から9番でいうと、どの番号が該当するのでしょうか。

○委員長（三澤隆一君） 大久保道の駅拡張整備推進課長。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君） お答えいたします。

こちらは1番にございます直接人件費でございます。こちら643万9,900円につきましては、こちらの見積りでは150.5人分の技術員をこの設計の中にあてがったというところございまして、その中の直接人件費に該当するものでございます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） 今、力量のある方のレベルが、何か数段階あるというお話をされたかと思うのですけれども、それ今、課長がおっしゃっていただいたのは、力量のある方の何段階目の方の単価をお使いになっているのでしょうかという質疑ですけれども、お分かりになりますでしょうか。

○委員長（三澤隆一君） 大久保道の駅拡張整備推進課長、お願いします。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君） お答え申し上げます。

今回の見積りにつきましては、失礼いたしました。こちら5段階の技師がおりますが、トータルで150.5人いらっしゃいますが、その中で人工で申しますと主任技師が8名、こちらが6万2,200円でございます。技師A、こちらが単価でございますが、1日当たりですが5万5,200円、こちらが29.5人でございます。技師B、こちらが1日の単価が4万5,300円、人工でいいますと43名。技師Cでございますが、日額3万5,600円、人工でいいますと38.5人。最後になります。技術員でございますが、こちらが1日当たり3万1,600円、こちらにつきましては31.5人と、トータルで150.5名を見積りの中では積算されております。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） ありがとうございます。そうしますと、資料2のほうで事業者による専門的知識、ノウハウを必要とする業務というような形で10項目、アクションアイテムリストが載っているようなのですけれども、これというのは今言った5段階の方が、今おっしゃったような階層レベルで、全員、そのレベルの人が必ず必要なのですという整理をされているということなのですね。一番下位層の方がやるのではなくて、要するに一番上の方、変な話、審査承認するだけではなくて、その一番上の方が8名取っていらっしゃるということは、こういった専門的知識という部分で、一番上の方も必要なのですよと、中間の人も必要なのですよと、一番力量の方も全員満遍なく必要なのですよというふうに整理されているということになりますでしょうか。

○委員長（三澤隆一君） 大久保道の駅拡張整備推進課長。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君） お答え申し上げます。

委員おっしゃるとおり、設計業務の中ではノウハウが必要な部分と高度な部分とがございますので、その中で割り振りをされているという認識でございます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 吉富委員。

○委員（吉富泰宣君） それというのは、業者さんといろいろと概算見積りを捉えるに当たって、かんかんがくがく、そうなのですね、こうなのですねということを確認された上で、今日の業務のアクション10テーマが出てきているということによろしいのですか。

○委員長（三澤隆一君） 大久保道の駅拡張整備推進課長。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君） お答え申し上げます。

見積りの中には、そういった必要な業務等がございます。その中で幾らというようなところがございますので、その人工につきましては全体の見積りの金額の中で、その業務に何名というよりは、全体の中で人数のほうを出されているということございまして、その中で直接人件費にトータルで関わってくるというところがございます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） よろしいでしょうか。

ほかにございますか。

塚田委員。

○委員（塚田砂与君） 既存の道の駅グランテラス筑西との一体性を持って整備とありますが、現在の建物の裏口方面の拡張になりますが、具体的にはどのように予定されていますか。

○委員長（三澤隆一君） 大久保道の駅拡張整備推進課長。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君） お答え申し上げます。

この資料1でいいますと、子供の遊具があるところがちょうどバックヤードでございます。また、整備予定地とそちらにつきましても段差等がございます。また、一番重要になってまいりますので、地権者様の協力でございます。この土地が取得できませんと、道の駅との一体性を持たせるところでございますが、つながらないところも出てまいりますので、そちらも含めて、今後、地権者様の意向を確認しながら、整備いたします範囲を確定いたしまして、その中で既存の道の駅グランテラス筑西とどこのポジションで一体性を持たせられるか、こちらにつきましてもどういった形でアプローチするかというところを基本計画の中で策定してまいりたいというところございまして、現在はどこでつながるというようなところがまだ明確にはなっておりません。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君） 塚田委員。

○委員（塚田砂与君） ありがとうございます。排水路をまたぐ拡張ですので、安全性も考えて進めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君） よろしいですか。

ほかに。

〔なし〕と呼ぶ者あり〕

○委員長（三澤隆一君） それでは、質疑を終結いたします。

それでは、この資料を回収させていただきます。

それでは、以上で議案第56号について全ての部の説明、質疑を終了いたしました。

議案第56号について討論願います。

田中委員。

○委員（田中隆徳君） 議案第56号について賛成の立場から討論させていただきたいと思います。

道の駅拡張整備の1,716万円の基本計画、漠然と出てきた数字に当初は疑問を感じました、金額の多さに。ところが、委員会を通じて書類、説明書を要請したところ、本当に分かりやすい説明書並びに事前も通して度重なる現地でご説明、その熱意と労力に本当に敬意を表するとともに、御礼申し上げる次第でございます。

が、しかし2点ほどちょっとご指摘をしたいと思うのですが、1点は、ちょっと事前にも全員協議会でも言いましたが、あくまでもゴールありきを決めて、そこに向かって進めていくような手法、それは一生に一度造れるか造れないかの道の駅でありますから、やはりそこは本当に議論を重ね、慎重に計画をしていただき、本当にみんなが満足いくような道の駅にさせていただきたい、そう願っております。

もう一点、先ほどの資料回収されましたが、ちょっとあそこに載っていましたが、ワーキングチーム、拡張整備計画の委員会があります。あその委員に一番下段に委員長が必要とする者ということで載っておりますので、少なくともやはり行政だけの進め方ではなくて、委員全員とは言いませんから、少なくとも委員長、副委員長ぐらいはワーキングチームに入れていただき、そして有効活用と言っていました。先ほど遊具施設なども出ておりましたので、やはりそういった、それを必要とする子育て世代というのですか、そういった団体さん、また若者世代の団体さん、そういう一般の民間の方も委員会に入れて、本当にちゃんとした有効活用ができるような施設になるための整備委員会だと思いますので、ぜひ委員会にもう始まっているみたいですが、スケジュール見たら2回ぐらい会議やっているみたいですが、途中編入でも大丈夫だと思うので、そこはぜひ今言った方を委員に取り入れていただくよう要望して、討論を終わります。

以上です。

○委員長（三澤隆一君） ほかにございますか。

〔なし〕と呼ぶ者あり〕

○委員長（三澤隆一君） 討論を終結いたします。

これより議案第56号を採決いたします。

議案第56号「令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）」のうち、所管の補正予算について賛成者の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長（三澤隆一君） 挙手全員。よって、本案は可決されました。

以上で土木部所管の審査を終了いたします。

ご苦労さまでした。退室を願います。

〔執行部退席〕

○委員長（三澤隆一君） 以上で経済土木委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。
なお、最終日の本委員会の審査結果報告につきましては、委員長に一任いただきたいと思います。
また、今定例会最終日に「閉会中の所管事務調査について」を提出いたします。
それでは、以上をもちまして経済土木委員会を閉会いたします。

閉 会 午前10時45分